

平成 11 年 3 月期業績見通しの修正について

当社の第 145 期（平成 11 年 3 月期）の業績見通しにつきまして、以下の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

当期のわが国経済は、雇用情勢の悪化や金融システム不安等を背景に、個人消費をはじめ設備投資、住宅投資など民間需要の低迷が続いており、景気は極めて深刻な状況にあります。

鉄鋼業におきましても、内需の不振に加え、下期に入り米国向け輸出が急減し、鋼材市況も軟調に推移するなど、事業環境は一層厳しさを増しております。また、総合エンジニアリング事業におきましても、国内・海外市場ともに競争が激化しており、事業環境はますます厳しくなっております。

このような経営環境の予想以上の悪化により、不断の収益改善努力にもかかわらず、経常損益は 280 億円程度の赤字となり、前回見通しに比べ 80 億円程度悪化する見込みです。また、当期損益は、要員削減や設備廃却等の前倒し実施に伴い特別損失が増加し、税効果会計の適用はあるものの、510 億円程度の赤字と、前回見通しに比べ 40 億円程度の悪化となる見込みです。

また、連結決算の見通しにつきましては、上記単独の業績見通しの悪化により、経常損益は 430 億円程度の赤字、当期損益は税効果会計適用後で 1,130 億円程度の赤字となる見込みです。

当社といたしましては、いかなる事業環境にも対応できる収益基盤の確立と財務体質の強化を図るため、電子デバイス事業やグループ条鋼事業の再編、京浜製鉄所の抜本的な事業体制見直し、追加要員削減など、グループを挙げて全力で取り組んでまいり所存です。で、皆様の御理解と御協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

		売上高	経常利益	当期利益
単独決算	今回見通し	10,200 億円	280 億円	510 億円
	前回見通し (平成 10 年 11 月 6 日)	10,500 億円	200 億円	470 億円
連結決算	今回見通し	18,000 億円	430 億円	1,130 億円
	前回見通し (平成 10 年 11 月 6 日)	18,350 億円	350 億円	1,090 億円

(今回見通しは税効果会計適用後の数値であり、影響額は 370 億円程度である。)

- 以 上 -

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

N K K 秘書部広報企画グループ
T E L 0 3 - 3 2 1 7 - 2 1 4 0